

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	6		国の定める配置基準では、事業所に児童発達支援管理責任者及び管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		生活空間は、児童にわかりやすく構造化され、児童の動線を妨げないよう適切な配慮をしております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	6		衛生環境に配慮し、毎日児童の退所後に机、椅子、道具等も消毒し、清潔を徹底しております。日々意見を出し合い、配置換えをおこない、また危険がないか確認しながら安全にも配慮しております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		事業所内の個室数は1室となっております。個室が使用できない時には、机の配置に留意し、落ち着いて育て育てる場所を提供できるように配慮しております。	安全を考慮しながら、パーティションの使用も検討してまいります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	定期的にリフレクション会議やミーティングをおこない、日々の業務改善や療育内容の見直しをしております。	今後もミーティングや引き継ぎにて情報共有を徹底し、職員全体がPDCAサイクルに主体的に参画できる体制づくりに努めてまいります。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に一度は保護者様にアンケートを依頼し、ご意見を職員間で検討し、リフレクション会議などで課題や改善案を話し合っております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎月リフレクション会議をおこない、職員間で情報の共有し、意見を出し合い、業務改善をおこなっております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については、今後の課題として具体的な実施方法を検討し、業務改善につなげられるよう努めてまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に事業所内研修をおこない、専門的知識の習得や資質向上に努めております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		面談にてアセスメントをおこない、保護者様からのニーズや課題に対応できるように支援計画を作成しております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	面談にてアセスメントをおこない、保護者様からのニーズや課題に対応できるように支援計画を作成しております。全職員で検討する時間を設け、共通理解を図っております。	今後もミーティングや引き継ぎにて情報共有を徹底し、職員間の共通理解のもと連携を図り、より高い質の支援に努めてまいります。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画については職員間で共通認識を図り、周知徹底したうえで、支援に取り組んでおります。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		統一化されたアセスメントシートを使用し、内容を元に支援計画の作成へと繋がっております。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		地域支援・地域連携に関する設定について現在計画中です。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムの立案は、職員全員で意見を出し合うことで課題に沿った活動を立案しております。利用児童の特性・現状と記録を参考に、その都度組み立て、共有しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	療育内容の見直しや話し合いを随時おこない、固定化しないようプログラムの工夫に努めております。	利用時の記録を確認しながら、療育内容を検討し、意欲的に療育に取り組めるよう工夫してまいります。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の発達に合わせて個別活動、集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	支援開始前には可能な限り打ち合わせをおこない、打ち合わせが難しい場合にはノートへの詳細な記載や口頭での申し送りをおこない、情報共有に努めております。	今後もミーティングや引き継ぎにて情報共有を徹底し、職員間の共通理解のもと連携を図り、支援の質の向上に努めてまいります。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援終了後は可能な限り振り返りの時間を設け、打ち合わせが難しい場合にはノートへの詳細な記載や口頭での申し送りをおこない、気づきの共有に努めております。	今後もミーティングや引き継ぎにて情報共有を徹底し、職員間の共通理解のもと連携を図り、継続的な支援の改善に努めてまいります。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援をおこなった職員が必ず経過記録を取り、できている所やできていない所などを見直し、支援の検証・改善に繋がっております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングをおこない、面談にて保護者様からお聞きしたご意向を踏まえたうえで、児童の状況や課題などを話し合い、計画の見直しを判断しております。		
	関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者や対象となる児童の状況を把握している職員が参画しております。	
		25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		各関係機関と連絡を取り、連携を図っております。	
26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		6		各関係機関とは担当者などでも連携を図り、情報共有、相互理解を図っております。		
27 就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		6		就学前の担当者会議などを通して情報提供・共有を図り、支援の方向が統一されるように努めております。		
28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。		6		事業所のある地域には児童発達支援センターがないため、そのような機会がありません。	児童発達支援センターが開設された際には積極的に連携を図り、必要に応じて助言やスーパーバイズを受けられる体制づくりに努めてまいります。	
29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		6				
30 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		6				
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6				
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		今年度は交流機会はありませんでした。	行政や関係機関と連携を図りながら、地域交流や地域行事への参加について具体的に検討し、児童の社会経験の機会を広げられるよう努めてまいります。	
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		6		送迎時などに保護者様にその日の様子を必ず伝え、共通理解を持てるようにしています。また保護者様と積極的な意見交換をおこない、より良い支援へ繋げております。		
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	できる範囲の支援に努め、送迎時や連絡帳のやりとりを通して、ご質問などへの助言をおこなっております。保護者様からお悩みやご相談などがあつた場合には、丁寧なアドバイスに努めております。	事業所への理解を深めていただけるよう、見学や懇談の機会の設定について保護者様のご意向に配慮しながら検討し、家族支援の充実にも努めてまいります。		
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時には丁寧な説明をするように努めております。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から意思、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		児童の様子を振り返りながらモニタリングを作成しております。保護者様の意向を踏まえたアセスメントを実施し支援計画を作成し、意向の確認をおこなっております。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援計画を作成した際には、保護者様に内容について説明をおこない、同意をいただいております。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時や連絡帳のやりとり、家庭連携を通して保護者様からの悩みや心配ごとについてうかがい、気持ちに寄り添った助言やアドバイスができるように心掛けております。		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	6		今年度は保護者会の機会はありませんでした。	保護者様のご意見やご要望を伺いながら、保護者会や交流会の開催について検討し、保護者同士つなかりを支援できるよう努めてまいります。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		現時点までに重大な苦情をいただいたことはありませんが、苦情窓口と責任者を配置し、玄関には、ご意見箱を設置しております。ご意見をいただいた場合は速やかに対応させていただきますよう努めてまいります。		
	41 定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することや、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		季節ごとにお便りや発行し、行事予定や制作活動の様子、お知らせなどを発信しております。		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱い扱いは慎重におこない、書類は施錠できる場所に保管をしております。また、利用児童の写真掲載は書面にて保護者様の同意を得たうえで、掲載しております。		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童には特性に合わせた伝達方法、保護者様には専門用語は避け、分かりやすい言葉で伝えるよう心掛けています。		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		今年度は地域住民をご招待するような企画はできませんでした。	個人情報保護および保護者様のご意向に十分配慮しながら、地域との交流機会の創出について具体的に検討し、地域に開かれた事業運営に努めてまいります。	
	非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを策定し、事業所内の現やすい場所に掲示するとともに、年間計画に基づき訓練を実施し、職員および保護者様への周知に努めております。	
		46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画（BCP）を策定し、地震・火災・風水害を想定した意識訓練を定期的に実施しております。訓練の様子は送迎時や連絡帳、おたよりを通して周知しております。	
		47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	6		事前に服薬や発作等の情報について聞き取りをおこない、通院前後の状況についても確認しております。全職員がマニュアルに沿った対応を共有し、緊急時に適切な対応ができるよう努めてまいります。	
		48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーについては面談時に詳細な情報を確認し、全職員で情報共有をおこない共通理解のもと対応しております。	
		49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、事業所内外の安全確保について定期的に研修や訓練を実施しております。マニュアルや計画書は事業所入口に掲示し、周知に努めております。	
50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		6		安全計画に基づく取組内容について、研修や訓練の実施状況を毎月のおたよりでお知らせし、家族等との連携に努めております。		
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討しているか。		6		ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有および検討をおこない、再発防止に努めております。		
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		6		虐待防止責任者を配置し、事業所内研修や外部研修を通して知識の向上を図り、全職員への周知徹底に努めております。		
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		原則として身体拘束はおこないませんが、やむを得ず必要となる場合には、児童および保護者様に十分な説明をおこない、承諾を得たうえで児童発達支援計画に記載しております。また、職員研修を通して適切な対応の徹底に努めております。			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。